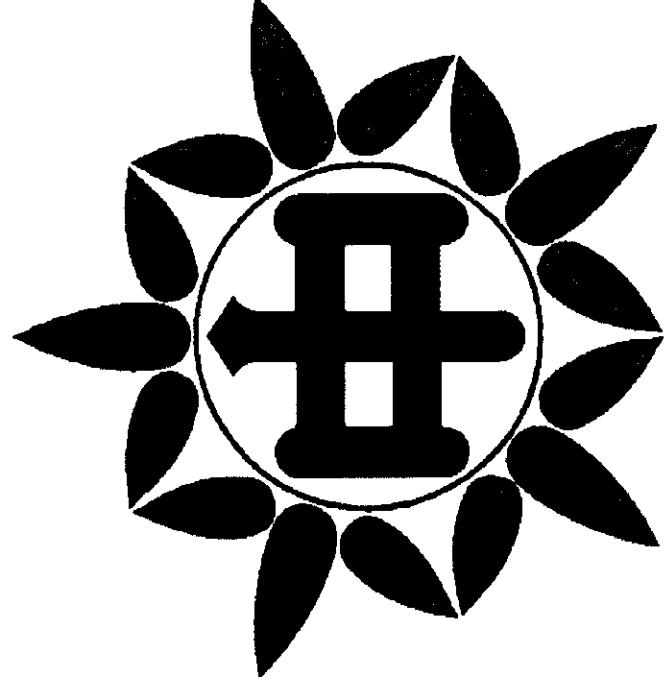


平成25年度

教育計画3

教育課題

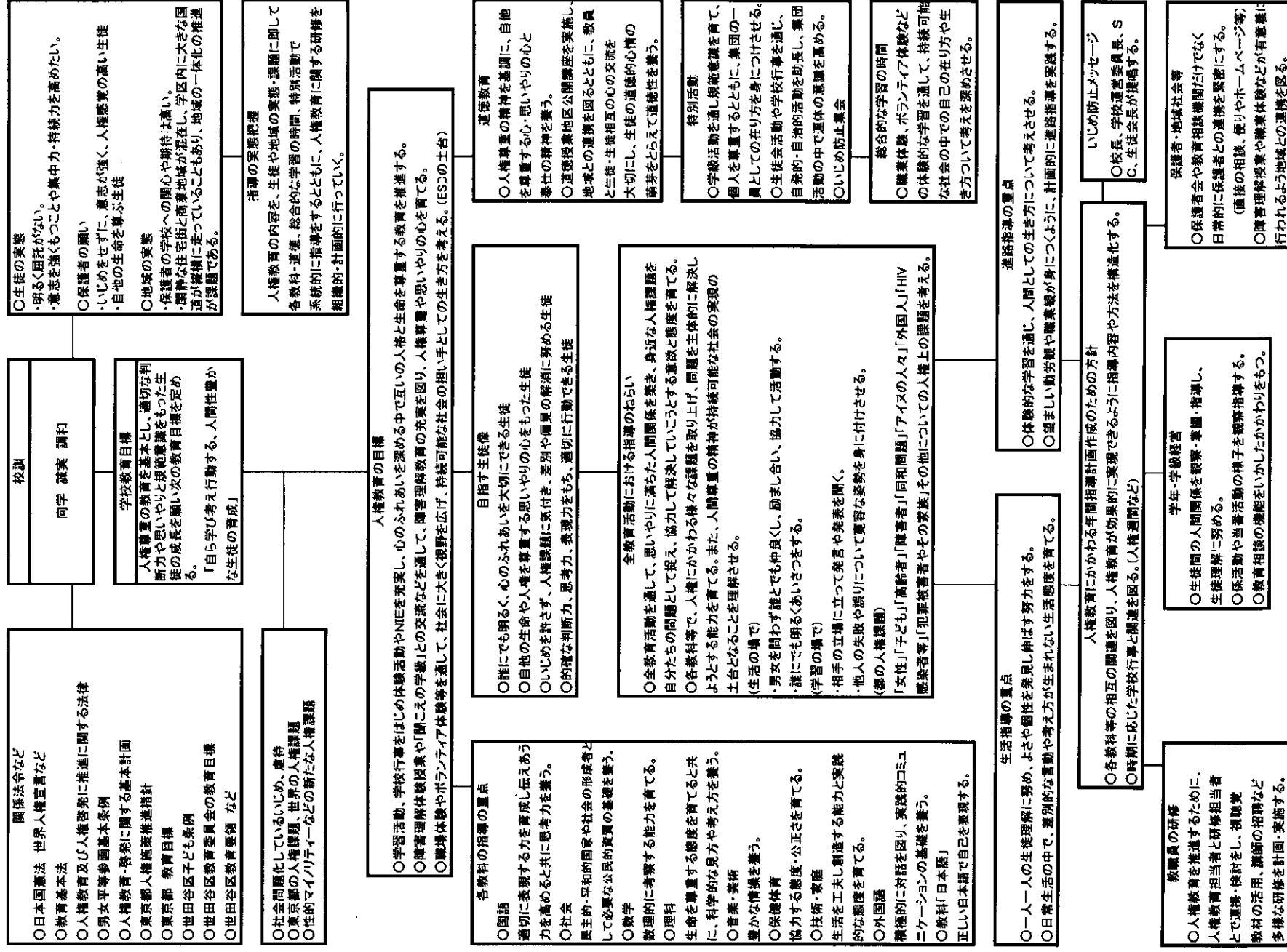
全体計画・年間計画



駒の学び舎
世田谷区立駒沢中学校

目 次

1	人権教育	全体計画・年間計画	P 1～ 4
2	特別支援教育	全体計画・年間計画	P 5～ 7
3	国際理解教育	全体計画・年間計画	P 8～ 9
4	食育	全体計画・年間計画	P 10～11
5	情報教育	全体計画・年間計画	P 12～13
6	進路指導(キャリア教育)	全体計画・年間計画	P 14～15
7	学校保健・性教育	全体計画・年間計画	P 16～19
8	E S D	全体計画・年間計画	P 20～21
9	環境・I L P -教育	全体計画・年間計画	P 22～23
10	防災教育	全体計画	P 24
11	安全指導	全体計画・年間計画	P 25～26
12	学校図書	全体計画・年間計画	P 27～28
13	N I E	全体計画・年間計画	P 29～30
14	法に関する教育 消費者教育・金銭教育	全体計画	P 31
15	生活指導	年間教育	P 32～33



平成25年度 人権教育年間指導計画【第1学年】

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

学校行事	各教科	道徳	特別活動・行事	総合的な学習の時間	その他
4月 始業式 入学式 生徒会レインゼーション 離任式 教育相談 健康診断4月～6月	英語 「新しいともだちをつくらう」 家庭「わたしたちの成長と家族・地域」	人間愛、思いやりの心 公德心 日本人としての自覚・人間愛	先生と生徒の関係づくり 同一行動の習慣化	中学校生活からかわりやつなごうを学ぶ 色々な人と生きる(障害理解教育)	その他 人格の完成を目指す等 [挨拶] 友だちをたのしくさん作る
5月 生徒総会 修学旅行(3)中間調査	技術 「ネットによる人権侵害」 国語 「字のない葉書」	礼儀 家族愛 愛校心	生徒会活動の意義と参加 所属感を高める 運動会への取り組み	中学校生活からかわりやつなごうを学ぶ(団結して物事を決める)	[思いやり] 人の気持ちの考え
6月 運動会 移動教室(2)ふれあい月間	英語 「簡単な自己紹介、あいさつ」	正義、公正・公平 友情、信頼 公德心	運動会への取り組み 暴力やいじめを考える	自分を知る(自分のよさを再確認する)	[責任] 自分の役割を自覚する
7月 期末考査 歌舞伎鑑賞教室(3) 終業式 教育相談	教科「日本語」 「ショートパント初体験インアメリカ」	生命尊重 男女の理解尊重	移動教室への取り組み	自分を知る(職業調べ)	[良心] 善悪の判断をする
8月				自分を知る(身近な人への職業インタビュー)	[生命の輝き] 生命の尊さについて考える
9月 始業式 移動教室(1)小学生体験入学 生徒会選挙	保健体育 「性機能の成熟」	遵法の精神 生命尊重 人間愛、思いやりの心	移動教室への取り組み 生徒会活動の意義と参加		[勇気] 自己規制する努力をする
10月 中間考査 日本語公開授業 合唱コンクール 道徳地区公開講座	国語 「まなちゃんの道」	感謝、報恩 遵法の精神 郷土愛 誠実・責任	連帯感を高める 合唱コンへの取り組み		[公共心] 協力・協調の大切さを知る
11月 セーフティ教室 校内作品展 教育相談(3) 期末考査 ふれあい月間	国語「少年の日の思い出」 英語「人を紹介しよう」	勤労、社会奉仕 誠実・責任 礼儀 郷土愛	暴力やいじめを考える	いじめ防止集会(生徒総会) 地域清掃への取り組み	[フェア] はじめある生活を送る
12月 教育相談 新入生保護者会 終業式	教科「日本語」 「地域活動に参加して」	自然愛 希望・勇氣 愛国心	学校生活の不安や悩み		[寛容] 差別しない で受け入れる
1月 美しい日本語週間 14歳の成人式 職場体験(2)	教科「日本語」 「人間ってすごい」	心理愛 感謝、報恩	校外学習への取り組み		[感謝] 感謝の気持ち伝える
2月 校外学習(1) 高校入試 学年末考査 ふれあい月間	教科「日本語」 「人生に答えを出した男の物語」	生きる喜び 人間愛 日本人としての自覚	暴力やいじめを考える		[やりぬく心] 目標を最後までやり抜く
3月 校外学習(3) 総合学習発表会 地域合同防災訓練 卒業式・修了式	国語 「自由訳イメージ」	向上心、個性の伸長 寛容・謙虚	自分自身の成長を確かめる	地域の中で生きる(地域合同防災訓練)	[誠実] まじめに真心を入れて生活する

平成25年度 人権教育年間指導計画【第2学年】

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

学校行事	各教科	道徳	特別活動・行事	総合的な学習の時間	その他 人格の完成を 目指して等
4月 始業式 入学式 生徒会レインেশョン 離任式 教育相談 健康診断4月～6月	教科「日本語」 「対話の基礎」	希望・勇気、強い意志 人間愛 自然愛	先生と生徒の関係づくり 同一行動の習慣化	集団の中で生きる(団結して物事を決める)	[挨拶] 友だちをたたくさん作る
5月 生徒総会 修学旅行(3) 中間考査	家庭 「住生活と自立」	男女の理解・尊重 希望・勇気	生徒会活動の意義と参加 所属感を高める 運動会への取り組み	集団の中で生きる(移動教室への取り組み)	[思いやり] 人の気持ちるを考える
6月 運動会 移動教室(2) ふれあい月間	英語 「Charity Walk」	公徳心 寛容・謙虚 人類愛	移動教室への取り組み 暴力やいいじめを考える	集団の中で生きる(移動教室への取り組み)	[責任] 自分の役割を自覚する
7月 期末考査 歌舞伎鑑賞教室(3) 終業式 教育相談	国語 「サーカスの馬」	愛校心 郷土愛	部活動の中心的な立場になる意識と心構え	将来に生きる(上級学校調べ)	[良心] 善悪の判断をする
8月 教育相談				将来に生きる(上級学校調べ)	[生命の輝き] 生命の尊さについて考える
9月 始業式 移動教室(1) 小学生体験入学 生徒会選挙	家庭 「わたしたちの成長と家庭・地域」	感謝、報恩 真実愛 人間愛 友情、信頼	生徒会活動の意義と参加	色々な人と生きる(障害理解教育)	[勇気] 自己規制する努力をする
10月 中間考査 日本語公開授業 合唱コンクール 道徳地区公開講座	国語 「走れメロス」	役割と責任の向上 正義、公正・公平	連帯感を高める合唱コンへの取り組み	集団の中で生きる(団結して物事を決める)	[公共心] 協力・協調の大切さを知る
11月 セーフティ教室 校内作品展 教育相談(3) 期末考査 ふれあい月間	美術 「ユニバーサルデザイン」	愛国心 家族愛 公徳心	暴力やいいじめを考える	いじめ防止集会(生徒総会) 地域清掃への取り組み	[フェア] はじめある生活を送る
12月 教育相談 新入生保護者会 終業式	英語 「スピーチ」	生命遵守 遵法の精神	学校生活の不安や悩み	社会に生きる(職場体験の準備)	[寛容] 差別しない で受け入れる
1月 始業式 美しい日本語週間 14歳の成人式 職場体験(2)	国語 「花いちもんめ」	生命の尊重 生きる喜び	最上級学年を迎えるにあたっての決意	社会に生きる(職場体験への取り組み)	[感謝] 感謝の気持ちるを伝える
2月 校外学習(1) 高校入試 学年末考査 ふれあい月間	国語 「言葉で伝える」	人間愛 人類愛 誠実、責任	暴力やいいじめを考える	社会に生きる(職場体験のまとめ)	[やりぬく心] 目標を最後までやり抜く
3月 校外学習(3) 総合学習発表会 地域合同防災訓練 卒業式・修了式	英語 「意見を言う」	自然愛 生きる喜び	自分自身の成長を確かめる	地域の中で生きる(地域合同防災訓練)	[誠実] まじめに真心を入れて生活する

平成25年度 人権教育年間指導計画【第3学年】

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

学校行事	各教科	道徳	特別活動・行事	総合的な学習の時間	その他 人格の完成を 目指して等
4月 始業式 入学式 生徒会リエンション 離任式 教育相談 健康診断4月～6月	国語 「ケナリも花、 サクラも花」	誠実・責任 自然愛	先生と生徒の関 係づくり 同一行動の習慣 化 生徒会活動の意 義と参加	郷土と文化を知 る(修学旅行への 取り組み)	[挨拶] 友だちをた くさん作る
5月 生徒総会 修学旅行(3) 中間考査	理科 「生命の連続性」	寛容・謙虚 自然愛	修学旅行への取 り組み 所属感を高める 運動会への取 組み	郷土と文化を知 る(修学旅行への 取り組み)	[思いやり] 人の気持ち を考える
6月 運動会 移動教室(2) ふれあい月間	社会 「二つの世界大 戦と日本」	郷土愛 個性の伸長 生命尊重	運動会への取 組み 暴力やいじめを 考える 部活動引退後の 過ごし方	郷土と文化を知 る(修学旅行への 取り組み)	[責任] 自分の役割 を自覚する
7月 期末考査 歌舞伎鑑賞教室(3) 終業式 教育相談	国語 「黒い雨」	遵法の精神 人類愛		豊かに将来を開 く(進路選択への 取り組み)	[良心] 善悪の判断 をする
8月				豊かに将来を開 く(進路選択への 取り組み)	[生命の輝き] 生命の尊さ について考 える
9月 始業式 移動教室(1) 小学生体験入学 生徒会選挙	社会 「人間の尊重と 日本国憲法の基 本原則」	家族愛 感謝、報恩 個性の伸長 生命尊重	生徒会活動の意 義と参加	豊かに将来を開 く(進路選択への 取り組み)	[勇氣] 自己規制す る努力をす る
10月 中間考査 日本語公開授業 合唱コンクール 道徳地区公開講座	英語 「What is the M ost Important T hing to You?」	生命尊重 生きる喜び 役割と責任の自 覚	連帯感を高める 合唱コンへの取 組み	豊かに将来を開 く(進路選択への 取り組み)	[公共心] 協力・協調 の大切さを 知る
11月 セーフティ教室 校内作品展 教育相談(3) 期末考査 ふれあい月間	国語 「パールハーバ ーの授業」	男女の理解・尊重 誠実・責任 愛国心	暴力やいじめを 考える	いじめ防止集会 (生徒総会) 豊かに将来を開 く(進路選択への 取り組み)	[フェア] はじめある 生活を送る
12月 教育相談 新入生保護者会 終業式	英語 「Mother Teresa」	正義、公正・公平 人間愛 友情、信頼	学校生活の不安 や悩み	豊かに将来を開 く(進路選択への 取り組み)	[寛容] 差別しない で受け入れ る
1月 始業式 美しい日本語週間 14歳の成人式 職場体験(2)	国語 「故郷」 保健体育「性感 染症の予防」	公徳心 人間愛 友情、信頼	卒業時期の学級 づくり	豊かに将来を開 く(進路選択への 取り組み)	[感謝] 感謝の気持 ちを伝える
2月 校外学習(1) 高校入試 学年末考査 ふれあい月間	国語 「顔の見える国 際協力」	強い意志 人間愛 愛校心	暴力やいじめを 考える	性に関する教育 地域の中で生き る(地域合同防災訓 練)	[やりぬく心] 目標を最後 までやり抜 く
3月 校外学習(3) 総合学習発表会 地域合同防災訓練 卒業式・修了式	教科「日本語」 「技」をつくる	公徳心 人類愛	自分自身の成長 を確かめる	障害理解教育 国際理解教育 デートDV	[誠実] まじめに真 心を入れて 生活する

平成25年度 特別支援教育全体計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

【法的根拠】 ・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・障害者自立支援法 ・発達障害者支援法 ・東京都特別支援教育推進計画 ・世田谷区の特別支援教育	【校 訓】 向学 誠実 調和 【学校の教育目標】 「自ら学び考え行動する、 人間性豊かな生徒の育成」	【生徒の実態】 ・明るく屈託がない。 ・意志を強くもつことや集中力、持続力に課題が見られる。 【教師の願い】 ・何事にも前向きで意志の強い生徒 ・自他の生命を尊重する生徒・素直さと協調性をもつ生徒 【地域の実情】・保護者の学校への関心や期待は高い。 ・閑静な住宅街と商業地域が混在し、学区内に大きな国道が縦横に走っていることもあり、地域の一体化の推進が課題である。
--	--	---

特別支援教育の目標
・個別指導計画、個別の支援計画を作成し、個に応じた学習指導や生活指導、進路指導を工夫して、その可能性を最大限に伸長する。 ・通常の学級に在籍する発達障害(LD、ADHD、高機能自閉症等)も含めた障害のある生徒への適切な教育的支援を ・人権尊重の精神に基づき、一人ひとりの教育的ニーズに応じて、保護者との連携を図りながら実施する。 ・難聴学級の活動や発表会などへの通常の学級の生徒の参加を通し、人権意識を高めるとともに、互いの個性を理解し 思いやりや共生の心を育てる。

特別支援教育の重点
・教育相談の機能をいかしながら、全教職員及び全校生徒の共通理解に基づく特別支援教育を推進する。 ・個々の実態に応じた指導により、基礎的・基本的な学習の能力を高めるとともに、自己実現の意識を高める ・障害理解教育を基盤とした交流活動を通して、ノーマライゼーションの考え方に基いた好ましい人間関係を育てる。 ・個々の生徒の学習や生活面での課題点を的確に把握し、適切な就学指導を推進する。 ・関係機関と協力するとともに、保護者、地域の特別支援教育への理解と連携を深める。

重点目標		具現の場と方途	校内体制
通常学級		○障害理解教育を推進する。 ○通常の学級に在籍する支援を必要とする生徒の障害に対する理解を深め、適切な対応を行う。	
通級指導学級（難聴）		・自己実現と自立のために基礎学力の向上を図る。 ・視覚情報の獲得により、言語力の向上を図る。 ・自分の障害を正しく理解し、望ましい自己像を確立し、主体的に生きていく姿勢を育成する。	
交流及び共同学習		通級指導学級のねらい ・通常学級での生活を通して、自信を深め、自ら進んで他者とかかわろうとする姿勢を育てる。 通常学級のねらい ・互いの違いを認め、他者への思いやりをもち、学び合え、支え合える人間関係づくりに努める。	
通常学級		○道徳の時間や学級活動における障害理解教育を実施し、障害がある人の気持ち、接し方などを理解する。 ○生徒本人の学習の様子や行動の特徴の実態を把握し、支援の仕方を共通理解して実践するため、必要に応じて個別指導を行うスクなど環境整備も行う。	校内委員会 構成メンバー ○特別支援教育コーディネーター(依田広太郎) ※校内委員会運営、計画作成、外部連携など ○生活指導部教員 ○スクールカウンセラー 相談支援及び校内研修 ・発達障害等の実態と対応法について理解を深める。 ・スクールカウンセラーとの情報交換を通し、支援を必要とする生徒の共通理解を図る。 ・関係諸機関との連携を図る。
通級指導学級及び支援		個に応じた指導及び支援 ・学習面、行動面において支援の必要な生徒の実態を把握する。 ・個別指導計画、個別の支援計画を作成し、実践する。その際、保護者の管理の十分注意する。 ・個人情報管理の十分注意する。 ・学校支援員を効果的に活用する。	個に応じた指導及び支援 ・学習面、行動面において支援の必要な生徒の実態を把握する。 ・個別指導計画、個別の支援計画を作成し、実践する。その際、保護者の管理の十分注意する。 ・個人情報管理の十分注意する。 ・学校支援員を効果的に活用する。
就学指導		・支援が必要な生徒の、卒業後を見据えた望ましい就学先の検討を行う。	就学指導 ・支援が必要な生徒の、卒業後を見据えた望ましい就学先の検討を行う。
交流及び共同学習		・障害理解教育を企画し、実施することで交流の基盤をつくる。	交流及び共同学習 ・障害理解教育を企画し、実施することで交流の基盤をつくる。

家庭、特別支援学校、関係諸機関、地域社会等との連携
・駒の学び舎内小学校、区内小中特別支援学校(副籍を含む)との連携を強め、情報交換を行う。 ・特別支援学校の特別支援教育コーディネーターによる授業見学、意見交換等を通して、指導に反映させる。 ・区教委、世田谷区教育相談センター、都立教育相談センター、医療機関などと個々のケースの共通理解を図る。 ・世田谷区社会福祉協議会との連携による、障害理解教育を実施する。SSN事業による支援を行う。 ・保護者や生徒を対象とした要約筆記ボランティアを募集し、活動を通して障害の理解を深める。

平成25年度 特別支援教育 年間指導計画(校内通級) 駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

学級	経営	教科	補充指導	自立活動	支援体制	交流	保護者	障害1年	障害2年	障害3年	備考
交流及び共同学習を通じた自己の障害の 理解と種々の困難を改善する	個別指導計画、個別の教育支援計画に 基づく適切な指導及び支援を行う	生徒の興味・意欲・理解を促 進するため、ICT活用を含め た教材・教具の開発を進め る	学力検査等とおして生徒 の学習の定着度を把握し、 指導方法の工夫・改善を 行う	一人一人の聴覚障害の状態等に応じ、音声、文字、 手話等のコミュニケーション手段を適切に活用する	一人一人の聴覚障害の状態等に応じ、音声、文字、 手話等のコミュニケーション手段を適切に活用する	一人一人の聴覚障害の状態等に応じ、音声、文字、 手話等のコミュニケーション手段を適切に活用する	一人一人の聴覚障害の状態等に応じ、音声、文字、 手話等のコミュニケーション手段を適切に活用する	聴覚障害の理解啓発を図る授業の実施 日本語『ショートイベント』初体験 イン・アメリカ』	聴覚障害の理解啓発を図る授業の実施	聴覚障害の理解啓発を図る授業の実施	・自立活動：障害の状態の理解と聴覚管理、保有する感覚の活用と視覚情報の獲得、感覚の補助・代行手段の活用、発音・発語・言語に関する など ・教科の補充指導：ICTやテイズー教科書等の活用を含む・支援体制：情報保障を含む

【校訓・学校教育目標】

- 校訓 向学 誠実 調和
- 学校教育目標
人権尊重の教育を基本とし、適切な判断力や思いやりと規範意識をもった生徒の成長を願い、次の目標を定める。
「自ら学び考え行動する、人間性豊かな生徒の育成」

- 学習指導要領
○世田谷区教育要領
○中央教育審議会答申
○世田谷区教育委員会の基本方針 など

【生徒・地域の実態】

- 【生徒】
・異文化や言語に対する興味・関心が高い。
・生徒の大半は学校での外国語の授業が英語や外国人（ALT）に触れる時間になっている。
【地域】
・国際理解教育や英語教育の充実を望んでいる。

【国際理解教育の指導目標】

- 1 各教科等や教科「日本語」で日本の伝統や文化を深く理解し、尊重する態度を基盤とする。（ESDの土台①）
- 2 人権尊重の精神を基盤に、人間理解と文化理解を通して異なる価値観を認め、異文化・多文化の国際社会のなかで世界の平和を尊重し、持続可能な社会の実現に貢献しようとする心情・判断力及び態度を養う。（ESDの柱④）
- 3 自己を表現する力や相手の話を聞く力を養い、母語及び英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

【駒沢中学校の目指す生徒像】

- 日本や地域社会の伝統と文化を尊重し愛着と誇りをもつとともに、外国の文化などにも理解を深めることのできる、世界的な視野と幅広い国際感覚をもつ生徒
- 豊かな表現力やコミュニケーション能力をもち、誰とでも協働して国際社会で活躍することができる生徒

各教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間・その他
・自ら考える力を高め、自己を表現する能力を育てる。 ・自国や他国の文化や伝統を尊重する態度を育てる。	・様々な価値観を認め、人権を認め合う態度を育てる。 ・郷土を愛し、自国の伝統と文化をほこりに思う気持ちを育む。 ・世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする意欲を高める。	・お互いを尊敬し、協力し合う心を育てる。 ・集団生活の中で、協力してよりよい生活を築こうとする態度を養う。 ・自治的活動に取り組める生徒を育てる。	・ALTとのチームティーチングを通して、コミュニケーション能力を育成する。 ・留学生からその国の文化や生活習慣を学んだり、将来の夢を聞くことで、国際社会に貢献しようとする気持を育てる。

英語教育

1 コミュニケーションに関すること

- (1) 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること
- (2) 積極的に外国語を聞いたり話したりすること
- (3) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること

2 言語や文化に関すること

- (1) 外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語とのちがいを知り、ことばのおもしろさや豊かさに気付くこと
- (2) 日本と外国との生活、習慣、行事等のちがいを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付くこと
- (3) 異なる文化をもつ人々との交流等の体験を通して、それらの文化等に対する理解を深めること

3 外国語の理解と表現

- (1) 聞く・話す・読む・書くについての知識と技能をバランスよく身に付けること
- (2) 基礎的・基本的な語・連語・慣用表現及び文構造（文法事項）について習得すること
- (3) まとまりのある文章を話す力・書く力（アウトプット）を高めること

・基礎的・基本的な語彙・文構造を習得する授業の目標の明確化とICTを活用した英語の授業

- ・NIEを取り入れた授業
- ・世田谷区教育要領に沿った繰り返し学習、発展的な学習を取り入れた授業
- ・スピーチ・チャンツ・多様なアクティビティを取り入れたコミュニケーション中心の英語の授業
- ・ALTや留学生、大使館（検討）との交流
- ・校内スペリングコンテスト（学年）、区英語スピーチコンテストの実施
- ・英検教室の計画的な実施、英語部の活動
- ・学校紹介（英語版）の作成、校内の英語表示など

	教科等				特別活動		行事	
	教科「日本語」	社会	外国語	道徳	総合的な学習の時間	学級活動	学校行事	
4月	給や写真から伝わるものを表現する	【地理】世界の様々な地域 【歴史】日本の始まり	・英語の 掲示・標識		・オリエ ンテー ション		入学式、身体測定、各種健康診断、運動会、 学校公開週間、生徒総会	
5月								
6月	対話の基礎	【地理】アジア、ヨーロッパ バ、アフリカ 【歴史】律令国家の成立	世界の食べ物を 知る		・セーフィ教室		生徒会役員選挙、合唱コンクール、三者面 談、学校保健委員会	
7月								
8月	相手・場面と言葉1	【地理】北アメリカ、南ア リカ、オセアニア 【歴史】貴族の政治と武士の 登場	ロンドン 旅行 を知る					
9月								
10月	場面を伝えよう		折り紙					
11月								
12月	率直な自己表現1	【地理】世界の様々な地域の調査、日本の様々な地域 【歴史】中世の日本と世界	プレゼント レター 旅行		・日本の伝 統文化を学 ぶ		日本語・学校公開週間、百人一首大 会	
1月								
2月					・まとめ			
3月								

平成25年度 食育全体計画

駒の学び舎
世田谷区立駒沢中学校

- 学習指導要領
○食育基本法
○食育推進
基本計画
○世田谷区教育
委員会の
基本方針

【校訓・学校教育目標】
向学 誠実 調和

人権尊重の教育を基本とし、適切な判断力や思いやりと規範意識をもった生徒の成長を願い、次の目標を定める。
「自ら学び考えて行動する人間性豊かな生徒の育成」

- 生徒
- ・明朗、活動的で素直。
 - ・給食を楽しみにしており、進んで給食当番活動に取り組んでいる。
 - ・学年が上がるにつれて、好き嫌いせず、バランスのよい食生活を送っている。

【食育の目標】

正しい食と生活習慣を自ら考え実践する生徒の育成に努め、健康的な心身と豊かな人間性を育む教育を推進する。

【食に関する指導目標】

- 1 正しい食と健康的な心身について見つけ直し、自らの生活を考えさせる。
- 2 健康的な心身と食の関係を、家庭科や保健体育科の授業、NIEと関連づけて学習する。
- 3 規則正しい生活習慣と食生活の関係を周知させ、全校で朝食をとる習慣づくりに取り組む

【駒沢中学校の目指す生徒像】

- 「早寝・早起き・朝ごはん」などの望ましい生活習慣を身につけ、自ら健康を保持・管理できる生徒
- 食文化や食品の生産・栄養について理解を深め、日常の生活を豊かにできる生徒

		1年	2年	3年
教科等との関連	社会	地域の自然を活かした生活	世界と日本の生活と文化	食糧問題と日本の農業
	理科	植物の生活と体の仕組み	動物のからだ働き	自然と人間
	保健体育	心身の発達と心の健康	健康と環境	健康な生活と病気の予防
	家庭	食事と役割	日常食を見直そう	行事食
	道徳	よりよい生活習慣	よりよい生活習慣	よりよい生活習慣
	教科 日本語			食 食べる
給食指導	4月	能力的な給食の準備 後片付け	8月 水分の取り方	12月 給食時間の使い方
	5月	白衣の帽子の着用	9月 食事の礼儀作法	1月 食器・食べ物を大切に する
	6月	食事のマナー	10月 配膳の効率化	2月 食生活と栄養の バランス
	7月	衛生への配慮	11月 感謝の気持ち	3月 1年間の食生活を 振り返る
個別指導	食物アレルギーへの対応・配慮、健康診断			
家庭・地域との連携	学校保健委員会、保健だより、PTA活動との連携、啓発、災害時の食			

平成25年度 情報教育全体計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

【法的根拠】

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領
・世田谷区教育要領 など

【校訓】

向学 誠実 調和

【教育目標】

「自ら学び考え行動する、
人間性豊かな生徒の育成」

【生徒の実態】

・明るく元気がない
・意志が強くもつことと集中力、持続力に課題が見られる。
【教師の願い】
・何事にも前向きで意志の強い生徒
・自他の生命を尊ぶ生徒
・素直さと協調性をもつ生徒
【地域の実情】
・保護者の学校への関心や期待は高い。
・閑静な住宅街と商業地域が混在し、学区内に大きな国道が縦横に走っていることもあり、地域の一体化の推進が課題である。

情報教育の目標

- 1 課題や目的に応じて情報手段を適切に活用し、主体的に問題を解決できる生徒を育成する
- 2 情報手段の特性を理解し、情報を発信・伝達する能力を身につけさせる
- 3 情報モラルの必要性を理解し、進んで望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度を育成する

各学年の指導目標

第1学年
・情報機器の基本操作を身につけさせる
・情報手段の特性を理解させる
・情報技術の社会への様々な影響を知らせる

第2学年
・情報を主体的に収集することができる能力を身につけさせる
・必要に応じて、情報を処理・表現・創造することができる能力を身につけさせる。
・情報モラルの必要性を理解させる

第3学年
・必要に応じて、情報を発信・伝達できる能力を身につけさせる。
・自ら情報活用を評価改善できる能力を身につけさせる
・望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度を培う

ICTを活用した授業改善(目標の明確化、ICTを活用した指導方法・形成的評価の工夫)

- ・デジタル教科書、開発コンテンツ、大型テレビ、電子黒板、実物投影機、PJなどを活用し、学習意欲と学力を高める。

各教科

国語・書写
・ワープロソフトによる文の編集をする
・ICT機器を活用し自分の考えを伝達する

社会
・資料やインターネットより収集した情報を適切に加工・処理し、表現する
・情報社会の意味を理解する

数学
・図形処理ソフトを利用した問題解決を行う

理科
・観察や実験を通じて、データの収集・処理を行い、グラフ化して分析し、表現する

外国語
・異文化の情報を収集する
・インターネットによる海外とのコミュニケーションを行う

音楽
・ソフトによる作曲・パート別演奏をする
・鑑賞や表現の補助手段として活用する

美術
・ペイントソフトによるデザイン学習をする
・スキナー使用で線画を取り込む

技術・家庭
・情報機器の基本操作、特徴を学ぶ
・ソフトウェアの機能と活用、表現方法、情報モラルや著作権、セキュリティを

保健体育
・スポーツテストの結果をデータ化し個人の運動能力の成長を把握する
・技能習得、体力向上、健康管理を行う

教科「日本語」
・調べ学習や発表活動を通じて情報機器を

道徳 特別活動

- ・情報モラルを大切にすることを育て
- ・インターネットを活用して、情報の収集を行う
- ・情報機器やコンピュータソフトを活用して、多くの情報を適切に処理したりプレゼンテーションを行う

総合的な学習の時間

- ・多くの情報の中から必要な情報を収集したり整理して、適切な情報発信ができるようにする
- ・目的に応じて情報機器を操作したり、コンピュータソフトを活用して適切に表現できるようにする
- ・情報化社会における情報モラルの理解を深め、社会のルールやマナーを守る態度を育成する

生活指導・進路指導、NIE、教育環境

- ・セーフティ教室などで情報モラルを取り扱う
- ・インターネット活用のガイドラインを作成する
- ・インターネットを活用し、高等学校その他の上級学校を調べる

特色ある教育活動や豊かな体験活動における指導との関連

- ・自主的なコンピュータ活用を支援する
- ・授業での情報活用方法についての情報交換を教員同士で行う

学び舎・家庭・地域などの連携

- ・学び舎内の学校同士による情報交換
- ・ホームページを通じて、地域への情報発信を行う
- ・地域人材活用や地域教材の発掘、人的な協力態勢づくりを行う

教育の情報化推進リーダー(田村真治) ICTマイスター(栗山幸夫、田村真治) ICT活用リーダー(西川慶介)

		教科			道徳			特別活動	総合的な学習の時間	情報モラル	
		1年	2年	3年	1年	2年	3年			3年	2年
4月	技：乗法と私たち の生活 タ：コンピュータ ーと情報処理	家：住居と自立	家：住居と自立	家：住居と自立	社：私たちが現 在の生活	社：私たちが生 活と政治	社：代社会 と政治	社：私たちが生 活と政治	社：私たちが現 在の生活	ネットリテラ シー養成講座	
5月	技：ネットワーク クと情報セキュ リティー	家：住居と自立	家：住居と自立	社：私たちが生 活と政治	社：私たちが生 活と政治	社：私たちが生 活と政治	社：私たちが生 活と政治	社：私たちが生 活と政治	社：私たちが生 活と政治		
6月	技：情報ネット クと情報セキュ リティー	家：住居と自立	家：住居と自立	社：私たちが生 活と政治	社：私たちが生 活と政治	社：私たちが生 活と政治	社：私たちが生 活と政治	社：私たちが生 活と政治	社：私たちが生 活と政治		
7月	技：情報モラル と知的財産										
8月											
9月	技：デジタル作 品の設計と製作	社：世界からみ た日本のすがた	社：世界からみ た日本のすがた	社：世界からみ た日本のすがた	社：私たちが生 活と政治	社：私たちが生 活と政治	社：私たちが生 活と政治	社：私たちが生 活と政治	社：私たちが生 活と政治		
10月	技：デジタル作 品の設計と製作	社：世界からみ た日本のすがた	社：世界からみ た日本のすがた	社：世界からみ た日本のすがた	社：私たちが生 活と政治	社：私たちが生 活と政治	社：私たちが生 活と政治	社：私たちが生 活と政治	社：私たちが生 活と政治		
11月	理：大地の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	サイバーシム シム	
12月	理：大地の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化		
1月	理：大地の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化	理：気象の仕組 みと天気の変化		
2月	数：資料の整理 と活用	数：確率	数：確率	数：確率	数：確率	数：確率	数：確率	数：確率	数：確率		
3月	数：資料の整理 と活用	数：確率	数：確率	数：確率	数：確率	数：確率	数：確率	数：確率	数：確率		
備考											

平成25年度 情報教育 年間指導計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

進路指導の現状
総合的な学習の時間を活用し、中学校3年間を
見通した進路指導に取り組んでいる。
3年生になって目先の進路指導に追われてしま
う傾向がある。

校訓・教育目標
人権尊重教育を基本とし、適切な判断力や思いやりと規範意識をもった
生徒の成長を願い、以下の教育目標を定める。
「自ら学び考え行動する、人間性豊かな生徒の育成」

本校の課題
1学年から計画的に進路学習を行い、社会性
や職業観をばぐくみ、自分の将来を見つめる。
職場体験や体験入学、情報の収集・整理を行い、
目的意識をもった進路選択・決定の援助を行う。

進路指導目標
1 生徒一人ひとりの発達段階に応じた計画的・継続的な進路指導を行う。
2 生徒一人ひとりが主体的に自己の特性への理解を深め、将来の進路決定ができるようにする。そのために、職業体験や学校訪問、
ポテンシャル体験等地域を中心とした学校外における学習を推進する。
3 生徒一人ひとりが将来の学校や職業などに関する情報を収集し、活用して進路の選択や決定をすることができるよう援助し指導する。
4 教育相談の機能を充実させ、生徒一人ひとりが、生き生きとした学校生活を送れるように援助する。
5 生徒一人ひとりに将来の目標をもたせ、人間としての生き方に関する指導を重視し、生涯にわたって学び続け、自己実現ができる生徒を育成する。

各学年の指導目標		
第1学年 自分を知る	◎目標をもって充実した中学生生活を送れるようにする。 ◎自分自身を知つめる。 ◎身近な人から生き方を学び、自分の将来を考える。	
第2学年 進路を知る	◎中学学年としての自覚をもち、健康で安全な生活が送れる用にする。 ◎職業や上級学校の情報を収集・整理し、自分の進路を具体的に考 える。 ◎職業について考える。 ◎職場体験学習を行う。 ◎自分の適性について考える。 ◎将来の希望を考える。 ◎進路理解教育を進める。 ◎学んだことを発表する。	
第3学年 進路を選択する	◎進路情報の収集と整理をして、自分の希望を具体化する。 ◎自分の希望にそった上級学校訪問、体験入学をする。 ◎進路選択、決定のための進路相談を進める。(指導・助言) ◎保護者と交えた進路相談をきめ細かく行う。 ◎進路理解教育を進める。	

総合的な学習の時間の活用した指導内容
・自分史をつくる。
・身近な人の生き方を調べる。
・聞き方、話し方を調べる。(聞き方・話し方を身につける)
・職業を調べる。
・職業理解教育を進める。
・学んだことを発表する。

教科	進路	特別活動	その他
①基礎基本をおさえて、わかる授業・成就感の 味わえる授業を心がける。 ②将来の職業生活に必要な知識・技能の修得を 図る。 ③授業を大切にし、目標をもって計画的に学習 できるようにさせる。 ④自己の能力・適性を知り、伸ばしていく能力 を身につけさせる。	①望ましい職業観・勤労観を養うための指導を 計画的に進め、適切な進路選択や職業生活 に資する能力を養う。 ②よりよい生き方について様々な角度から考え させることを通じて勝ち負けを望まない 態度を養う。 ③望ましい職業観・勤労観を育てる。 ④自己の能力・適性を知り、伸ばしていく能力 を身につけさせる。	①一人ひとりの存在感を認め合い、楽しく生活 できるような学校づくりを工夫する。 ②学習の仕方、計画の立て方や学び方を教え、 助け合う態度を育てる。 ③生徒会・学校行事・部活動に積極的に取り組 む態度を養う。	①適切な進路相談を通して、一人ひとりを生か すような指導・助言をする。 ②保護者・地域社会・高等学校などの関係諸機 関との連携を図る。 ③3年間を見通した進路指導を計画実践し、進 路に対する関心を高め、適切な進路選択がで きるようにする。

全教職員協力の協力の態勢の確立と研修の充実
保護者会の充実と研修(学習)会の開催
道徳授業地区公開講座
進路指導の基盤
関係諸機関との密接な関係づくり
生徒指導の充実と学年・学級経営の充実

学期	月	第1学年	第2学年	第3学年
1学期	4月	「中学校生活を知る」 ・中学校生活について知る。 ・中学生になつての抱負を考える。 ・委員会、係活動、班活動や班行動を通じて責任感や役割分担を学ぶ。 ・行事へ参加する。 「学習の習慣をつける」 ・定期考査の準備と反省をする。 ・学習計画を立て方を学ぶ。 「障害理解教育」 ・聴覚障害の理解を深める。	「学習の習慣をつける」 ・課題を明確した学習計画を立てる。 ①「上級学校について知る」 ・中学校卒業後の進路について調べる。 ・高校訪問、学校説明会の参加により上級学校を具体的に知る。 ・高校訪問時のマナーを知る。	「豊高学年としての自覚と責任ある行動をとる」 ・自己理解を深め、生き方を考える。 ・学習計画を立てる。 「進路選択に向けて」 ・計画的な学習習慣を身につける。 ・年間の進路計画を立てる。 ・第1回進路説明会を行う。 ・進路希望調査を行う。 ・進路相談（個別面談）を行う。 ・進路に関する情報を提供する。 ・面接指導を行う。
1学期	5月	・委員会、係活動、班活動や班行動を通じて責任感や役割分担を学ぶ。 ・行事へ参加する。 「学習の習慣をつける」 ・定期考査の準備と反省をする。 ・学習計画を立て方を学ぶ。 「障害理解教育」 ・聴覚障害の理解を深める。	「上級学校について知る」② ・訪問、学校説明会で得た情報を新聞にまとめ発表し情報を共有する。 「職業について考える」 ・職業を調べる② ・職場体験をする事業所の職種についての事前研究をする。 ・マナーについて学ぶ。 ・事前連絡の取り方を学ぶ。 ・言葉の正しい方を学ぶ。 ・あいさつ、お礼の仕方	「進路を選択する」 ・見学、体験の情報を提供する。 ・高校訪問、学校説明会へ参加する。 ・体験学習、体験入学を行う。 ・学校見学、文化祭等の見学をする。 ・進路情報の収集と整理を行う。 ・第2回進路説明会を行う。 ・進路希望調査を行う。 ・進路指導を深める。 ・保護者を交えた個別面談を深める。 ・就職希望、進路志望先を決定する。 ・面接指導、集団討論指導を行う。
2学期	8月	「自分を知る」 ・自分を探る。（自分史を作ろう） ・誕生から現在までを見つめ直す。 ・将来の夢を考え、将来設計をする。 「身近な大人から学ぶ」 ・身近な大人の生き方を調べる。 ・身近な大人にインタビューをする。 ・新聞づくりと発表を行う。	「上級学校について知る」② ・訪問、学校説明会で得た情報を新聞にまとめ発表し情報を共有する。 「職業について考える」 ・職業を調べる② ・職場体験をする事業所の職種についての事前研究をする。 ・マナーについて学ぶ。 ・事前連絡の取り方を学ぶ。 ・言葉の正しい方を学ぶ。 ・あいさつ、お礼の仕方	「進路指導を深める」 ・就職希望、進路志望先を決定する。 ・面接指導、集団討論指導を行う。
2学期	9月	「自分を知る」 ・自分を探る。（自分史を作ろう） ・誕生から現在までを見つめ直す。 ・将来の夢を考え、将来設計をする。 「身近な大人から学ぶ」 ・身近な大人の生き方を調べる。 ・身近な大人にインタビューをする。 ・新聞づくりと発表を行う。	「上級学校について知る」② ・訪問、学校説明会で得た情報を新聞にまとめ発表し情報を共有する。 「職業について考える」 ・職業を調べる② ・職場体験をする事業所の職種についての事前研究をする。 ・マナーについて学ぶ。 ・事前連絡の取り方を学ぶ。 ・言葉の正しい方を学ぶ。 ・あいさつ、お礼の仕方	「進路指導を深める」 ・就職希望、進路志望先を決定する。 ・面接指導、集団討論指導を行う。
2学期	10月	「自分を知る」 ・自分を探る。（自分史を作ろう） ・誕生から現在までを見つめ直す。 ・将来の夢を考え、将来設計をする。 「身近な大人から学ぶ」 ・身近な大人の生き方を調べる。 ・身近な大人にインタビューをする。 ・新聞づくりと発表を行う。	「上級学校について知る」② ・訪問、学校説明会で得た情報を新聞にまとめ発表し情報を共有する。 「職業について考える」 ・職業を調べる② ・職場体験をする事業所の職種についての事前研究をする。 ・マナーについて学ぶ。 ・事前連絡の取り方を学ぶ。 ・言葉の正しい方を学ぶ。 ・あいさつ、お礼の仕方	「進路指導を深める」 ・就職希望、進路志望先を決定する。 ・面接指導、集団討論指導を行う。
2学期	11月	「自分を知る」 ・自分を探る。（自分史を作ろう） ・誕生から現在までを見つめ直す。 ・将来の夢を考え、将来設計をする。 「身近な大人から学ぶ」 ・身近な大人の生き方を調べる。 ・身近な大人にインタビューをする。 ・新聞づくりと発表を行う。	「上級学校について知る」② ・訪問、学校説明会で得た情報を新聞にまとめ発表し情報を共有する。 「職業について考える」 ・職業を調べる② ・職場体験をする事業所の職種についての事前研究をする。 ・マナーについて学ぶ。 ・事前連絡の取り方を学ぶ。 ・言葉の正しい方を学ぶ。 ・あいさつ、お礼の仕方	「進路指導を深める」 ・就職希望、進路志望先を決定する。 ・面接指導、集団討論指導を行う。
2学期	12月	「自分を知る」 ・自分を探る。（自分史を作ろう） ・誕生から現在までを見つめ直す。 ・将来の夢を考え、将来設計をする。 「身近な大人から学ぶ」 ・身近な大人の生き方を調べる。 ・身近な大人にインタビューをする。 ・新聞づくりと発表を行う。	「上級学校について知る」② ・訪問、学校説明会で得た情報を新聞にまとめ発表し情報を共有する。 「職業について考える」 ・職業を調べる② ・職場体験をする事業所の職種についての事前研究をする。 ・マナーについて学ぶ。 ・事前連絡の取り方を学ぶ。 ・言葉の正しい方を学ぶ。 ・あいさつ、お礼の仕方	「進路指導を深める」 ・就職希望、進路志望先を決定する。 ・面接指導、集団討論指導を行う。
3学期	1月	「将来の希望と進路を考える」 ・職業を調べる① ・希望の職業を調べる。 ・仕事の内容や必要な資格等を調べる。 ・働くことの目的と意義を知る。	「職場体験学習を行う」 ・体験するにあたり事前の確認をする。 ・職場体験学習（3日間） ・お礼状の作成 ・社会に生きることの意義を知る。 ・まとめ ・体験したことをまとめて発表し情報を共有する。	「進路を決定する」 ・一斉面接練習を行う。 ・書類作成練習（願書、自己PRカード）を行う。 ・受験の心構えを学ぶ。 ・卒業後の心構えを学ぶ。 「障害理解教育」 ・障害の理解を深める。

※キヤリア学習ノートを使用する。

平成25年度 学校保健全体計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

学校保健安全法 他法規	校訓 学校教育目標	生徒や地域の実態
-------------	-----------	----------

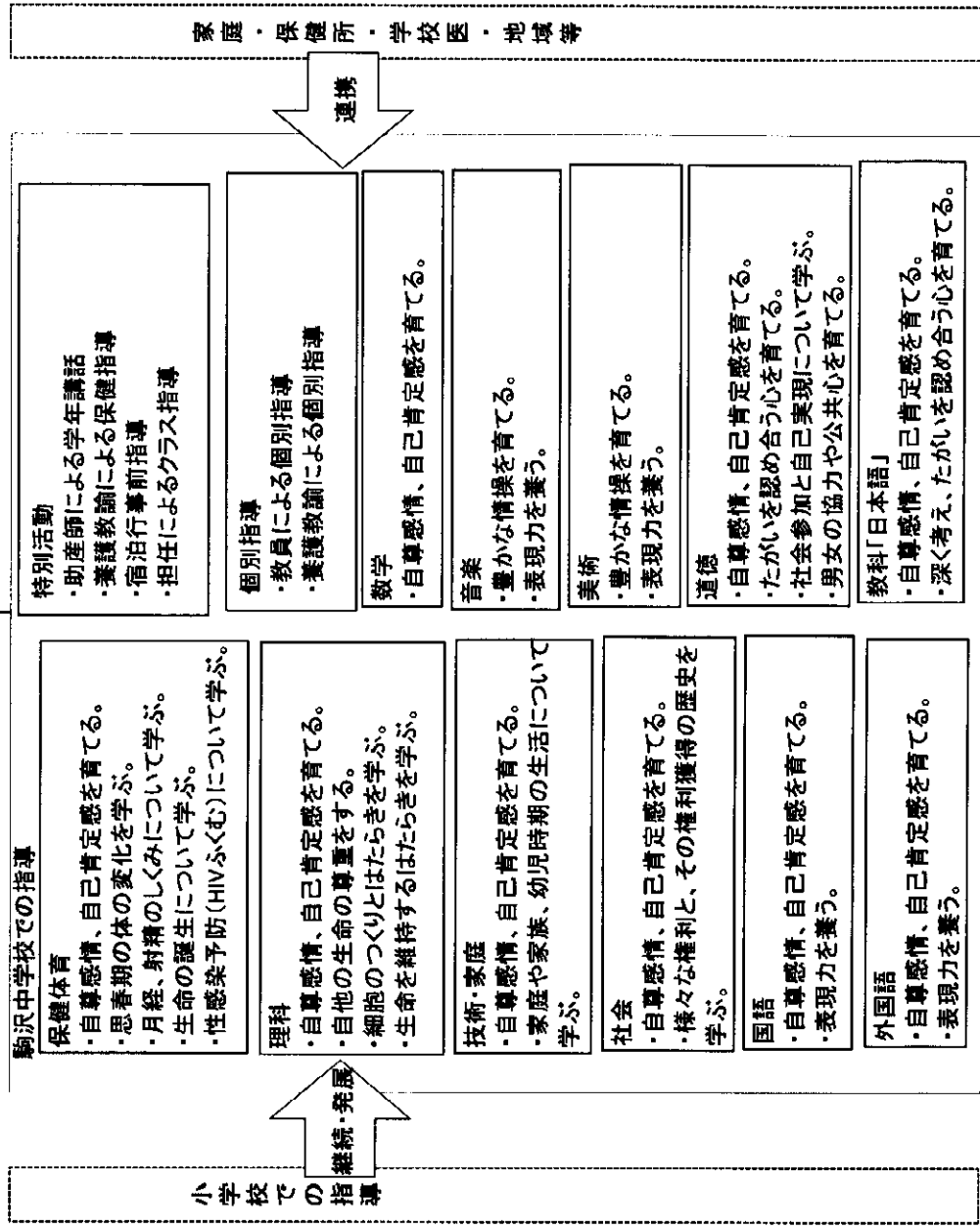
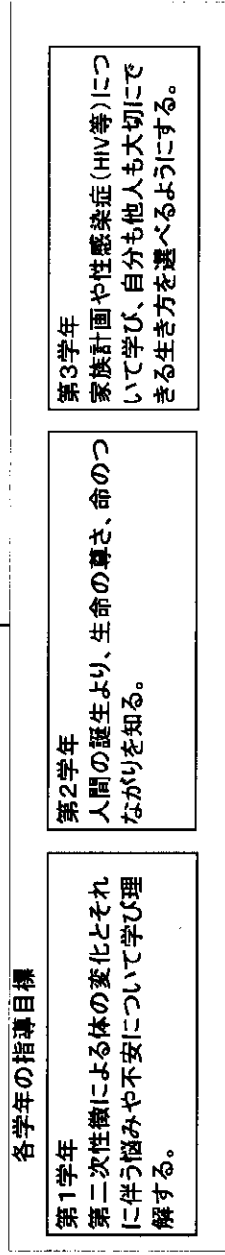
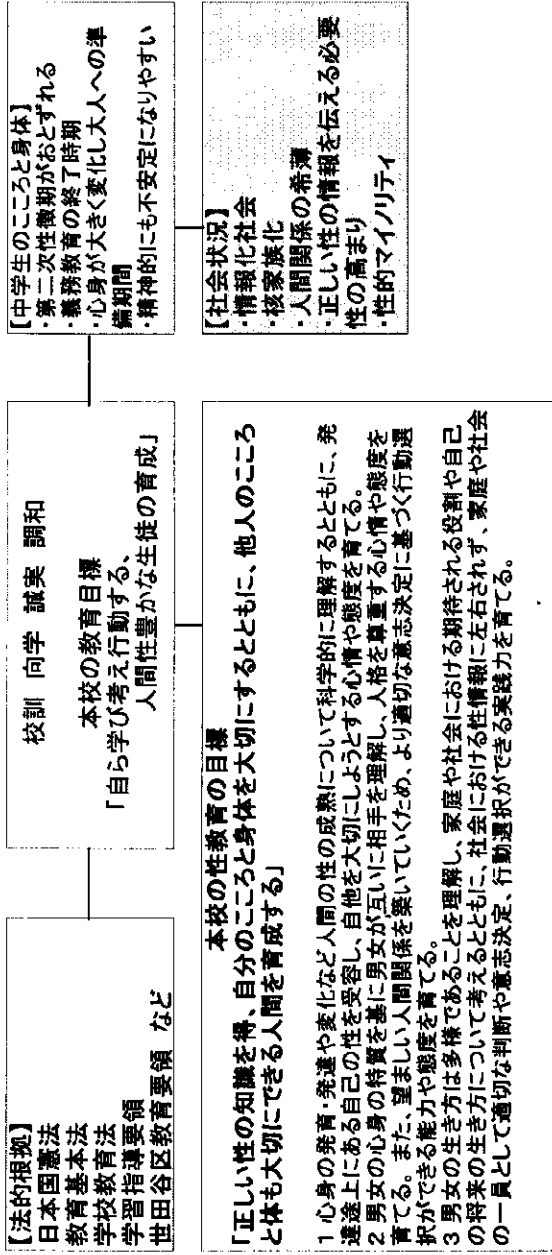
学校保健の目標
生徒の健康課題を把握し、それらを生徒一人ひとりがよりよく解決していく能力や資質を身に付けさせ、生涯を通して健康で安全な生活を送ることができるようにする。

目標達成のための取り組み	
保健管理	保健教育
○生徒の心身と生活・環境の向上について、法令等に基づいた適切な保健管理を、マネジメントサイクルに沿って行う。 - 健康診断を法令等に基づいて計画的、効果的に行い、事後措置を適切に行う。 - 生徒の情報を学級担任等と共有するとともに、けがなどの応急処置を他の教員と連携して適切に行う。 - 健康観察、健康相談を計画的に行うとともに、感染症の予防に努める。 - 学校環境衛生検査を計画的に行うとともに、日常的な学校環境衛生活動等を適切に行う。 - 健康に問題がある生徒の保健管理について、個人情報に注意しながら適切に行う。 - 法令に基づく公表簿や各種保健調査、保健室利用状況表等を適切に整備し、定期的に管理職へ報告、相談する。	○養護教諭の特質や保健室の機能を生かした保健学習、保健指導、健康相談を基盤に、医師や関係機関などによる専門的な支援も活用する。 - 保健体育等の関連教科や道徳、学級活動等における指導内容と連動し、養護教諭がかかわる保健学習、保健指導、保健講話を充実する。 - 学校行事の健康安全・体育的行事等の保健に関する行事における保健指導を充実する。 - 感染症、熱中症、麻しん、風しん、がんの予防などの今日的な課題について指導、啓発する。 - 生徒の保健室での体験を授業にいかす。 - 学校保健統計調査や健康観察の状況、健康診断の状況と経年変化、保健室の利用状況や日常の保健指導、個別の保健指導や成長の記録でとらえた課題や情報を授業にいかす。 - 生徒会保健委員会を計画的に行い、生徒朝会で発表、啓発する。
○保健管理と保健学習、保健指導、健康相談がしやすい保健室経営を行う。	

保健管理・保健教育にかかわる情報の内容と連携	
- 生徒の健康状態 - 学校保健組織の活動状況 - 各種保健衛生統計 - 地域の保健・衛生の課題 - 国や世界の保健行事（歯の衛生週間、目の愛護デー、世界エイズデーなど）	- 学校環境衛生の実態 - 保健室利用状況 - 体力調査の考察 - 人権や性にかかわる情報
○学校保健に関する研修について（教務主任等） - 生活習慣の乱れ、いじめ、不登校、薬物乱用などの課題（生活指導主任等） - けがの防止や災害時の応急処置、普通救命講習などの安全上の課題（安全教育担当教員等） - 児童虐待などのメンタルヘルスに関する課題（教育相談担当教員等） - 発達障害や聴覚障害などに関する課題（特別支援教育コーディネーター等） - アレルギー疾患（食に関することを含む）や食中毒などに関する課題（食育リーダー等） - 性に関する健康問題、体力調査の考察などに関する課題（保健体育担当教員等） - 性同一性障害、デートDVなどの人権問題（道徳教育推進教師等） など	
校内連携	
学校保健委員会	○学校における健康に関する課題を研究協議し、健康づくりを推進する - 学校保健計画の計画・実施・評価に関する反省やまとめ、生徒の取り組みの発表 - 今年度の目標や重点についての評価と次年度の計画 - 健康診断の実施及び結果から特に重点となる項目の分析、考察や今後の対策 - 生徒の心身の健康課題（生活習慣病を予防するための食生活、家庭や地域で取り組む体力づくり、子どものメンタルヘルスの理解とその対応、インフルエンザの予防、学校・家庭・地域が連携して取り組む性に関する指導など）
その他	- 保健だより、HPを活用して広く広報する。全校朝会で生徒に指導、啓発する。 - 保護者会などで保護者に啓発する。また、健康上の課題がある生徒の保護者への助言を行う。 - 学び舎内の小学校や学校協議会などの情報交換や連携を綿密に行う。 - 学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校保健会、教育委員会、保健所などと積極的に連携する。

平成25年度 性教育全体計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校



年間目標 生徒自ら健康を保持増進できるようにする

駒の学舎 世田谷区立駒沢中学校

月	4	5	6	7	8	9
保健目標	・自分の健康や発育状態を知る ・健康診断の目的を知る	・定期健康診断 ・定期健康診断結果での異常を速やかに治療する ・修学旅行を安全に終わらせ	・歯を大切にしよう ・運動会でのけがを予防しよう ・食中毒を予防しよう	・夏を健康に過ごそう ・アールの事故を防止しよう ・朝ごはんを食べよう	・規則正しい生活をしよう	
学校保健関連行事	・定期健康診断 ・(計測・視力・内科・眼科・腎臓・結核・色覚相談)	・定期健康診断 ・耳鼻科健診、心臓、腎臓二次検査等) ・修学旅行/修学旅行事前健康	・歯の衛生週間 ・アール前健康相談	・鼻の日(8月7日) ・生活習慣病予防検診	・結核予防週間	
環境	・教室の照度・照明検査 ・水質検査 ・保健室の整備 ・嘔吐処理セット整備	・給食施設点検 ・水質検査 ・薬品点検	・アール施設設備検査 ・ダニアレルゲン検査 ・水質検査	・教室の空気検査 ・空気中化学物質検査 ・水質検査 ・オージオメーター検査 ・保健室疫菌消毒	・水質検査 ・薬品の点検	
生活	・保健調査 ・定期健康診断の実施 ・治療勧告発行	・定期健康診断の事後指導 ・定期健康診断統計作成 ・修学旅行生の健康把握	・定期健康診断の事後指導 ・健康上注意生徒把握 ・管理指導表配布	・定期健康診断結果通知 ・未治療生徒への治療よびか回収	・管理指導表・治療勧告書の回収	
保健教育	・健康診断の目的・正しい受け方 ・保健室の利用の方法 ・歯科ハイリスク生徒への指導 ・保健だよりの発行(毎月)	・健康診断結果の見方、早期治療の必要性について ・修学旅行に向けての健康管理 ・喫煙防止教育 ・歯科講話・歯科個別指導	・運動会においてのけが予防 ・口腔の健康 ・移動教室(2年)の健康管理 ・水泳時の健康管理	・夏休みの過ごし方 ・熱中症予防 ・防災の日、救急の日 ・夏休みの反省 ・移動教室(1年)の健康管理	・前期委員会反省	
生徒会活動	・前期委員会組織づくりと年間計画作成 ・学校保健年間計画提示	・生徒総会準備	・せつけん班・広報班に分かれ活動	・1学期の反省	・前期委員会反省	
組織活動等						
個別指導	・保健室来室者への対応 ・発育、発達に関する指導 ・保健室来室者への対応	・このころの健康、不登校者への支援 ・基本的な生活習慣に対する指導 ・健康診断の事後指導(治療勧告)	・発育、発達に関する指導 ・疾病異常に関する指導 ・生活習慣病予防検診要観察者への生活習慣指導			
性教育	・養護教諭における個別指導(通年) ・教員における個別指導(通年)	・修学旅行前の性教育 ・心身の機能の発達(保健体育)	・移動教室(2年)前の性教育 ・思春期の心とからだ ・(1年、養護教諭による)	・移動教室(1年)前の性教育		

平成25年度 学校保健計画

年間目標 生徒自ら健康を保持増進できるようにする

駒の学舎 世田谷区立駒沢中学校

月	保健目標	学校保健関連行事	保健 管理	環境	生活	保健 指導	児童・生徒会活動	組織活動等	個別指導	性教育
10	・目を大切にしよう ・病気に負けない基礎 体力をつけよう	・目の愛護デー (10月10日)				・教室の照明・照明機 ・水質検査 ・計量器検査 ・嘔吐処理セット整備	・石けんでの手洗い ・目 ^(月) の健康について ・保健だよりの発行(毎 ・食育指導	・後期委員会組織づく り ^(月) と年間計画作成 ・臨時生徒総会準備	・保健室来室者への対応 ・こころの健康、不登校者への支援 ・基本的生活習慣に対する指導 ・発育、発達に関する指導 ・疾病異常に関する指導 ・生活習慣病予防検診要観察者への生活習慣指導	・養護教諭における個別指導・集団指導 ・教員における個別指導・集団指導 ・思春期の心とからだ (2・3年、助産師による)
11	・教室の換気をしよう ・エイズについて考え よう	・学校保健委員会 ・3年担任に願書用基 礎資料配布 ・世界エイズデー(12月1日)	・教室空気検査 ・水質検査 ・水質検査 対策 ・インフルエンザ予防 対策	・教室空気検査 ・水質検査 ・水質検査 ・保健室・理科室薬品点 検査 ・保健室書類さしかえ	・インフルエンザ等の 流行状況の把握 ・インフルエンザ等の 流行状況の把握 ・次年度健康診断計画 作成	・インフルエンザ予防 ・石けんでの手洗い ・感染性胃腸炎予防 ・教室の換気 ・受験期の健康管理 ・食育講演会(未定)	・石けんでの手洗い ・目 ^(月) の健康について ・保健だよりの発行(毎 ・食育指導	・後期委員会組織づく り ^(月) と年間計画作成 ・臨時生徒総会準備	・保健室来室者への対応 ・こころの健康、不登校者への支援 ・基本的生活習慣に対する指導 ・発育、発達に関する指導 ・疾病異常に関する指導 ・生活習慣病予防検診要観察者への生活習慣指導	・養護教諭における個別指導・集団指導 ・教員における個別指導・集団指導 ・思春期の心とからだ (2・3年、助産師による)
12	・教室の換気をしよう ・エイズについて考え よう	・学校保健委員会 ・3年担任に願書用基 礎資料配布 ・世界エイズデー(12月1日)								
1	・風邪の予防を心がけよ ・受験期の健康	・風邪罹患状況調査始め	・教室空気検査 ・水質検査 ・水質検査 ・保健室・理科室薬品点 検査 ・保健室書類さしかえ	・インフルエンザ等の 流行状況の把握 ・インフルエンザ等の 流行状況の把握 ・次年度健康診断計画 作成	・インフルエンザ予防 ・石けんでの手洗い ・感染性胃腸炎予防 ・教室の換気 ・受験期の健康管理 ・食育講演会(未定)	・石けんでの手洗い ・目 ^(月) の健康について ・保健だよりの発行(毎 ・食育指導	・後期委員会組織づく り ^(月) と年間計画作成 ・臨時生徒総会準備	・保健室来室者への対応 ・こころの健康、不登校者への支援 ・基本的生活習慣に対する指導 ・発育、発達に関する指導 ・疾病異常に関する指導 ・生活習慣病予防検診要観察者への生活習慣指導	・養護教諭における個別指導・集団指導 ・教員における個別指導・集団指導 ・思春期の心とからだ (2・3年、助産師による)	・養護教諭における個別指導・集団指導 ・教員における個別指導・集団指導 ・思春期の心とからだ (2・3年、助産師による)
2	・こころの健康につい て考えてみよう ・風邪の蔓延防止 いて学ぼう	・風邪罹患状況調査始め								
3	・自分の健康を振り返ろう ・思春期のこころと体につ いて学ぼう	・思春期講話(2年・3年) ・風邪調査終わり ・3年進路先への資料送付 ・耳の日(3月3日)	・水質検査	・保健室書類さしかえ	・次年度健康診断計画 作成	・石けんでの手洗い ・目 ^(月) の健康について ・保健だよりの発行(毎 ・食育指導	・後期委員会組織づく り ^(月) と年間計画作成 ・臨時生徒総会準備	・保健室来室者への対応 ・こころの健康、不登校者への支援 ・基本的生活習慣に対する指導 ・発育、発達に関する指導 ・疾病異常に関する指導 ・生活習慣病予防検診要観察者への生活習慣指導	・養護教諭における個別指導・集団指導 ・教員における個別指導・集団指導 ・思春期の心とからだ (2・3年、助産師による)	・養護教諭における個別指導・集団指導 ・教員における個別指導・集団指導 ・思春期の心とからだ (2・3年、助産師による)

平成25年度 ESD(持続発展教育)全体計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

【法的根拠】 日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 世田谷区教育要領 など	【校 訓】 向学 誠実 調和 【学校の教育目標】 「自ら学び考え行動する、 人間性豊かな生徒の育成」	(小・中学校ESD)地域をとり、地域とつながる、かわる (生徒の実績) ・明るく「困難がない」 ・希望を強くもつことや集中力、持続力に周囲が驚かれる。 ・「困難の無い」・「困難にも前向きで進歩の速い」生徒 ・「地域の発展」・「地域の文化・歴史・環境」を大切にする生徒 ・「地域の発展」・「地域の文化・歴史・環境」を大切にする生徒 ・「地域の発展」・「地域の文化・歴史・環境」を大切にする生徒
---	--	--

ESDの観点 ・人格の発達や、自律心、判断力、責任感などの人間性を育むこと ・他人との関係、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「かかわり」、「つながり」を尊重できる個人を育むこと

駒沢中学校のESDの目標 ESDの観点を取り入れた環境・エネルギー教育、防災教育、NIE等により「人や社会・自然とかかわり、行動する力」を涵養する。
--

指導の重点と柱等の目標 「地域をベースにしながら、日本、世界に視野を広げ、持続可能な社会について学び、行動する」	人間 ①環境・エネルギー教育 ②防災教育 ③国際理解教育・英語教育 ④道徳教育、日本の伝統・文化教育 ⑤環境教育・生命尊重教育	経済・社会 ①道徳教育、日本の伝統・文化教育 ②環境教育・生命尊重教育	自然
---	---	--	-----------

日本の「よさ」と「課題」の認識を土台に、多様な人との「かかわり」「つながり」を重視した活動を通して、持続可能な社会づくりの担い手をばぐむ学習

各教科 社会(地理的分野) ・地域の環境問題や環境保全の取り組みを中核として、それを産業や地域開発の動向、人々の生活などと関連付け、持続可能な社会の構築のためには地域における環境保全の取り組みが大切であることを考える。 社会(公民的分野) ・持続可能な社会を形成するという観点から、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探索させ、自分の考えをまとめさせる。 理科(第1分野及び第2分野) ・自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し、持続可能な社会をつくるために何ができるかを討論させる。 技術・家庭 ・自然エネルギーの利用技術やエネルギーに関する技術が、生活や社会を豊かにしている場面、逆に生活や社会を脅かす場面をとらえて、持続可能な社会の実現について具体的に考えたり話し合ったり伝えたりさせる。	各学年の取り組み 第1学年 ・校外学習(都内巡り)・・・江戸の文化に触れ、伝統・文化を大切にしようとする心情を育む。 ・職業インビュー・・・勤労・職業に対する関心を高め、将来の希望や計画をもち、その実現のための自己の能力の伸長に取り組む態度を育てる。 第2学年 ・校外学習(鎌倉)・・・古都鎌倉を通じて、日本の文化・歴史に触れ、伝統・文化を大切にしようとする心情をばぐむ。 ・職場体験・・・体験活動を通して、社会における様々な役割を理解するとともに、社会と自己のかわりから、多面的に自分の特徴や適性を理解し、目標を目指して自分を高めようとする態度を育てる。 第3学年 ・修学旅行(京都・奈良)・・・日本の文化や歴史に実際に触れ、伝統・文化を大切にしようとする心情をばぐむ。 ・進路選択・・・よりよい生活や学習・進路、生き方を目標として、自ら課題を見いだしていくこと大切さを理解させ、主体的に課題に対応していく能力を育てる。	教育活動 道徳教育 ・温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりや心をもち、生命の尊厳を理解し、かけがえない自他の生命を尊重する生徒を育成する。 キャリア教育 ・よりよい生き方について様々な角度から考えさせ、社会体験、職場体験、ボランティア体験を通じて職業観や勤労観など培い、望ましい進路を選択しようとする態度を育てる。 環境・エネルギー教育 ・学校エコライフ活動などの環境にかかわる活動を通して課題意識をもたせ、持続可能な社会・環境づくりのために責任ある行動をとれる生徒を育成する。 ・タンデム山の自然を有効活用する。 防災教育 ・地域合同防災訓練を通して、自分たちの住む地域の防災に関する準備の重要性を知り、地域防災の意義について考え、防災に対する意識を高めて、また、防災訓練への参加を通して、地域を持続発展させるためには何が必要なのかを考えさせる。 国際理解・英語教育 ・文化や言語の異なる国際社会について学んだり、外国の文化や言語に触れたりする体験を通して、世界の人々と共に生きていくことのできる資質・能力の基礎を育成する。	総合的な学習の時間
---	---	---	------------------

教科「日本語」
 ・深く考える力を育成する。
 ・自分の考えや思いを表現する力、コミュニケーション能力を育成する。
 ・日本文化を理解し大切にして、継承・発展させる力・態度を育成する。

2

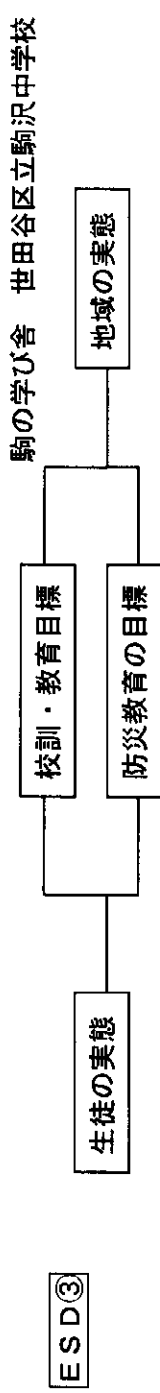
平成25年度 環境・エネルギー教育全体計画

ESD③

東京都・世田谷区の指導重点等		校 訓	
現代社会の要請		向学 誠実 調和	
・世田谷区ではめざす環境像である「緑と水の環境共生都市せたがや」を実現するため、次の目標を掲げている。		学校の教育目標	
1 持続可能な社会を実現する		「自ら学び考え行動する、人間性豊かな生徒の育成」	
2 緑と水を守り育てる		ESD の目標	
3 安らぎある暮らしを支える		・すべての人が質の高い教育の恩恵を享受すること。	
4 みんなが環境について考え行動する		・持続可能な発展のために求められる原則、価値観及び行動が、あらゆる教育や学びの場に取り込まれること。	
以上を踏まえ、本校では、環境について関心を持ち、考える生徒を育成する。		・環境、経済、社会の面において持続可能な将来が価値観と行動の変革をもたらすこと。	
・ISO14001、環境マネジメントシステム			
		環境・エネルギー教育の目標	
・地域の環境をはじめ、地球全体の環境問題、エネルギー問題に関心をもち、環境保全と省エネルギーに向けてひとりひとりの責任や役割を理解する。			
・地球的視野で様々な課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組み、持続可能な社会づくりの担い手となるような生徒を育成する。ESDの柱③			
		目指す生徒像	
・人間と自然、人間と社会のかかわり・つながりについての正しい認識に立ち、責任ある行動をとる生徒。			
・持続可能な社会づくりの担い手として、将来にわたり主体的に課題解決に参画する力を身に付けた生徒。			
		指導の重点 エコライフ活動	
・環境に対する課題意識をもつことを通して、よりよい環境づくりのために責任ある行動がとれる生徒を育成する。			
・日々の環境整備に加え、ごみの分別活動がごみの資源化とごみの減量に直結すること、その活動がひいては世田谷区、日本、世界の環境の保全に結び付くことを生徒に意識させる。			
・生徒会活動における省エネルギー活動や「タンチ山」の教材化等を通して、主体的に環境を守る意識や態度を育成する。			
		各 教 科 等	
自然・生命に関する内容	ごみ・資源に関する内容	エネルギー・地球温暖化に関する内容	
社会的分野・公民的分野の学習を通して、地球環境や資源・エネルギーに関する課題・問題を学習し、公害の防止など含め環境の保全についての意識を高める。			
第1分野では、環境との調和を図った科学技術の進歩についての学習や、さまざまなエネルギー利用や放射線についての学習があり、それらの有効利用の大切さを理解させる。第2分野の学習では、自然環境が自然界のつり合いの上に成り立っていることを理解するとともに、自然環境保全の重要性を認識させる。			
技術分野では、環境とエネルギー資源との関係について学習させ、資源の大切さ、持続発展可能なエネルギーなどについて学び、環境保全における一人一人の役割を意識させる。家庭分野では、自分の生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活の工夫を学習させる。			
保健分野において、環境の保全に十分配慮した廃棄物の処理の必要性を学習させる。また、地域の実態に即した公害と健康の関係を学習させる。			
自然を愛護する意識を高める。	NIE（新聞の活用）		
		特別活動	
		学 級 活 動	
		教室内蛍光灯をこまめに消すなどのエコ活動に取り組ませ、省エネルギーについての意識を高める。	
		生活指導・進路指導	
		学校の清掃活動を中心とした環境整備に取り組ませることで、公共物を大切にしようとする態度を育てる。	
		生徒会活動	
		エコライフ活動を通して、よりよい環境について考えようとする態度を育てる。	
		学 校 行 事	
		移動教室などの自然体験活動を通して、自然の大切さに気付かせ、環境保全の意識や態度を育てる。	
		地域・家庭との連携	
		・資源回収など、家庭と連携して行う環境保全活動を行う。	
		・積極的に地域の環境を守る活動に生徒が参加するよう奨励する。	
		教職員	
		・プール、スプリングラーの管理	
		・エアコン、照明、ポット、ゴミ分別等	

項目		月									
A 自然・生命に関する内容	社会	(A)、(C)世界のさまざまな地域(1年) (B)、(C)近世の日本と世界(2年) (B)近代化の進む世界と日本 (A)日本の諸地域 ◎私たちと現代社会(3年) (B)、(C)私たちの生活と経済(3年) (C)国際社会を生きる(3年)									
	理科	(A)植物の生活と種類(1年) (A)動物の生活と生物の進化(2年) (A)生命の連続性(3年) (A)自然界のつり合い(3年) (A)大地の変化(1年) (C)電流とその利用(2年) (C)気象のしくみと天気の変化(2年) (A)、(B)、(C)地球の明るい未来のために									
	技術・家庭	<技術> (A)生物育成に関する技術(1年) (B)、(C)エネルギー変換に関する技術(3年) ----- (A)食生活と栄養(1年) (B)、(C)わたしたちの消費と環境(2年) (A)調理と食文化(3年)									
	保健体育	(A)、(B)、(C)健康と環境(2年) (A)、(B)、(C)健康な生活と疾病の予防(3年) >>>									
道徳	道徳	(A)自然愛、畏敬の念(2年) (A)自然愛、畏敬の念(3年) (A)生命尊重(1年) (A)生命尊重(3年) (B)、(C)日本人としての自覚、人類愛(3年) (A)自然愛、畏敬の念(1年) (A)生命尊重(2年) (A)生命尊重(2年)									
	学級活動	(C)教室照明の節約(全学年) >>> (C)教室空調の温度設定(夏季) (C)教室空調の温度設定(冬季)									
	生徒会活動	環境教育啓発掲示板の管理 >>> 落ち葉掃き									
	学校行事	(A)運動会(全学年) (A)修学旅行(3年) (B)、(C)職場体験(2年)									
進路指導	進路指導	(B)校内清掃(全学年) (B)大掃除 (B)、(C)職業調べ(1年) (B)大掃除									
	生活指導	(B)、(C)高校見学(3年) (B)、(C)職業調べ(1年)									
環境教育に関する組織活動	環境教育に関する	(B)資源回収(ペーパー・コレクション) (通年) (C)CO ₂ 削減アクション(1年) (C)緑のカーテン (B)、(C)打ち水活動									

平成 25 年度 防災教育全体計画



- ・災害の自然的・社会的要因を知り、今後の学校、地域の防災体制を考え、持続可能な社会の実現に貢献する意欲を高める。ESDの柱③
- ・過去の災害や他地域の災害例、NIEなどから危険を理解し、災害への日常的な備えや的確な避難行動ができるようにする。
- ・災害発生時に自ら危険を予測し回避するための主体的に行動する態度を育成し、災害から生命を守るのに必要な能力や資質の向上を図る。
- ・人間としての在り方・生き方を考え、生命を尊重する心を育成するとともに、他者に対する思いやりや助け合いの心、ボランティア精神等（共助・公助の精神）の大切さについて理解を深め、被災時には地域の力になろうとする実践力を高める。

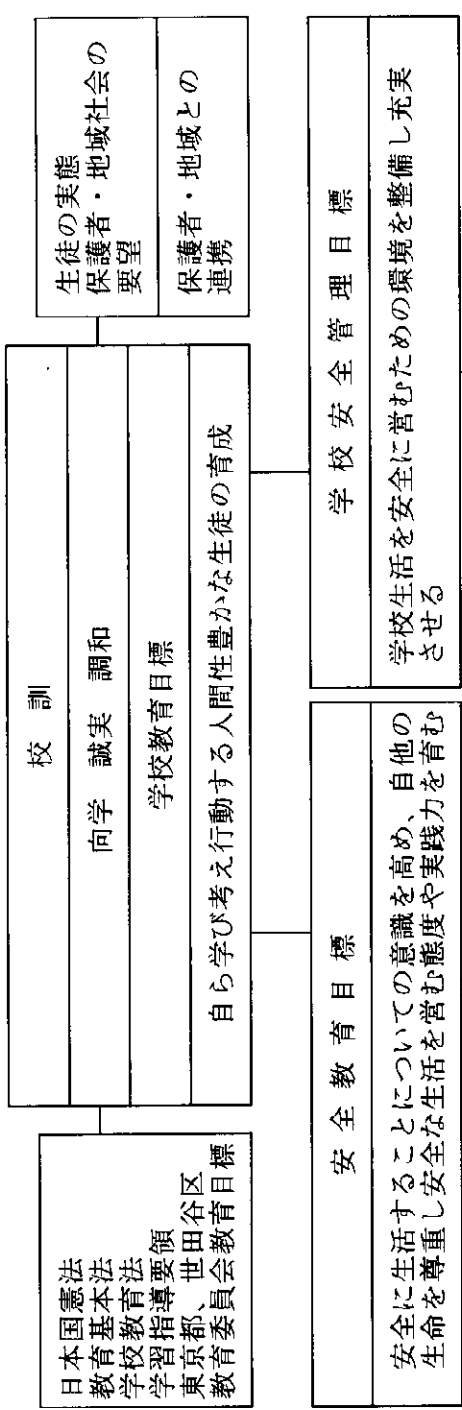
推 進 の 視 点		
防災体制の整備充実	新たな防災教育の推進	指導力・実践力の向上
・教職員の役割の明確化と家庭や地域及び関係機関との連携、防災マップの周知 ・災害時の危機管理能力の向上と避難所支援マニュアルの整備（学校運営委員会） ・日常の安全管理と避難経路の点検	・教育活動全体を通じた防災教育の推進 ・副読本「3・11を忘れない」「明日に生きる」「放射線について考える」の活用 ・長期的な心のケア（相談機能）の充実 ・効果的な安全指導と防災訓練の実施	・教職員の防災リテラシーや応急処置能力の向上、スタンバイプ等の研修 ・心のケア等の校内研修会の充実 ・学校協議会、地域合同防災訓練の実施 ・町会防災訓練、被災地との交流（試行）

各 学 年 の 目 標		
第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
・人間としてかけがえない生命を与えられていることに喜びと感謝の気持ちを持ち、人間としてどう生きていくかを考える。 ・家族や社会の一員として共に力を合わせて集団生活の向上に努めようとする態度を育てる。 ・自然災害について知り、地域の状況をとらえることによつて災害の備えについて考え、防災意識の向上を図るとともに、避難所としての学校の役割を考える。	・非日常的な生活を強いられた仲間の心情や被災児童生徒の悲しみや苦しみの深さにふれることで、生命の重さや尊さについて考える。 ・ボランティア精神及び勤労の喜びを理解し、ボランティア等の活動に積極的にかかわろうとする態度を養う。 ・地域の災害特性に気づかせるとともに先人の被害への備えなどを調べ、地域における防災体制を考える。 ・地域の安全確認、救出、救援、消火への協力を考える。	・やさしさや思いやりの心を持ちながら生きていくことの大切さを理解させるとともに、進んで公共の福祉のために尽くそうとする態度を養う。 ・地震のメカニズムを理解し、安全で快適な町づくりをするために必要な環境整備について関心をもつ。 ・災害時における学校が果たす役割について理解し、地域防災の担い手として、学校と地域の人々とのつながりを考える。

教 科	道 徳	特 別 活 動	総合的な学習の時間
・科学的思考力・判断力の育成 ・災害のメカニズム、地域特性、地域での支え合い、防災体制等の知識・技能 ・防災意識の高揚 ・ボランティア精神の育成 ・応急処置法、AEDの体得 ・非常時の食、ライフライン ・ESD、防災用語、防災作文	・生命尊重の精神の育成 ・差別意識の解消、異文化理解、共生等、人権尊重の精神の育成 ・ボランティア精神及びやさしさや思いやりの心情の育成 ・仲間を大切にし、かかわり、つながろうとする心情の涵養	・日常的な備え、災害時の安全確保、的確な判断や行動等実践的能力の育成 ・互いに協力し合い、自ら困難を克服する態度や実践的能力の育成 ・仲間とのかかわり、つながり ・自主的な活動やボランティア活動の実践	・ボランティア精神及び実践的態度の育成 ・地域の災害の歴史を学び、今後の防災体制について考える態度の育成 ・防災意識の高揚（家庭における防災の話し合いの啓発） ・ボランティア活動の実践 ・ESDの取り組み

平成 25 年度 安全指導全体計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校



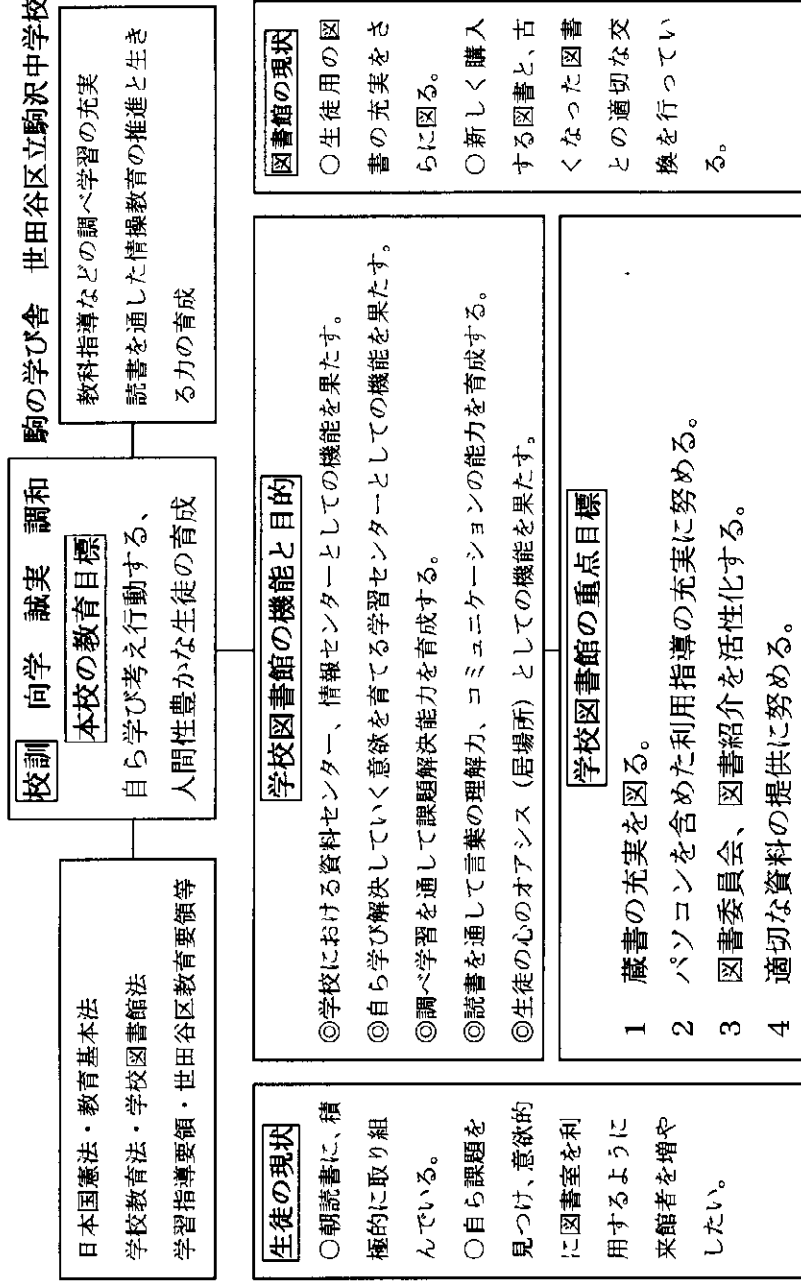
安 全 教 育
○安全について必要な事柄を理解し、日常生活に生かし、常に安全な行動ができる。 ○危険を予測し、回避する能力を身に付けさせる。 (生活安全、交通安全、災害安全) ・全教育活動における指導 ・学校安全・体育的行事における指導 ・学校安全・体育的教室、避難訓練 ・生徒会活動における指導 ・不審者情報による指導 ・地域安全マップによる安全指導 ・個別的安全指導 ・「安全教育プログラム」「地震と安全」N I Eなどの活用
月 1 回の安全指導

安 全 管 理
○生徒の学習、生活環境の安全性の確保及び維持を図る。 ・定期及び臨時の安全点検と事後措置 ・通学路の確認と通学のきまりの設定 ・防災計画、防災施設点検 ・緊急地震速報受信点検 ・避難所運営マニュアルの点検 ・安全に関する諸調査 ○理科、美術、保健体育、技術・家庭・劇物、毒物、薬品等の管理 ・刃物、機械などの管理 ・用具、プール、校庭固定物などの管理

教 科	総合的な 学習の時間	道 徳	特別活動	
			学級活動	学校行事・生徒会活動
学習を通して、安全な基礎・技能を習得する。 生活を送るための知識・技術を習得する。	安全について自ら考える、主体的に判断し、問題を解決する質や能力を育てる。	安全な生活を送るために必要な道徳的・道徳的態度を養う。	自己の生命を尊重し、他人の生命を尊重する態度を育てる。	自発的・自治的な実践活動を通して、安全に対する主体的実践力を育てる。

[illegible]

平成25年度 学校図書館運営全体計画



生徒に身に付けさせたい能力			
1 読解力	2 豊かな語彙、言葉遣い	3 思考力、判断力、課題解決能力	
4 生涯を通じて読書に親しむ習慣	5 豊かな感性・情操	6 メディアリテラシー	

具 体 的 な 指 導 事 項	管理運営面	利用指導面	読書指導面	その他
	○公共図書館の購入した図書や新聞等の書評、生徒や教員の希望を参考にして、常に良書の購入を心がけ、蔵書の充実と適切な除籍を行う。 ○図書委員会を活性化させ、広報活動などを進め、学校図書館の機能を充実させる。 ○データベース化に伴い、蔵書の管理と運営を確実に行う。	○学校図書館司書教諭と図書館司書が協力して、図書館メディアの配架や展示を工夫する。 ○パソコンは図書と同時に調べ学習として利用させ、メディアリテラシーの向上を図る。 ○各教科で図書室の資料を利用する機会を多くし、図書やパソコンの活用を進める。 ○修学旅行や職業調べなどの特別活動、総合的な学習の時間や教科「日本語」の授業等に役立ちそうな図書をそろえ、活発に利用できるように助言を行う。	○適切に図書の紹介を行い、レファレンス機能の充実も図る。 ○生徒の自由読書や発展的な読書を勧め、環境を整備する。 ○各授業の単元の教材や校外学習に向けて適切な図書を整備し、利用でききる図書の紹介に努める。	○生徒の心が安らぐ場として、学校図書館の環境整備を心がける。 ○朝読書など図書館行事の指導を行う。 ○区立図書館、NIEとの連携を進める。

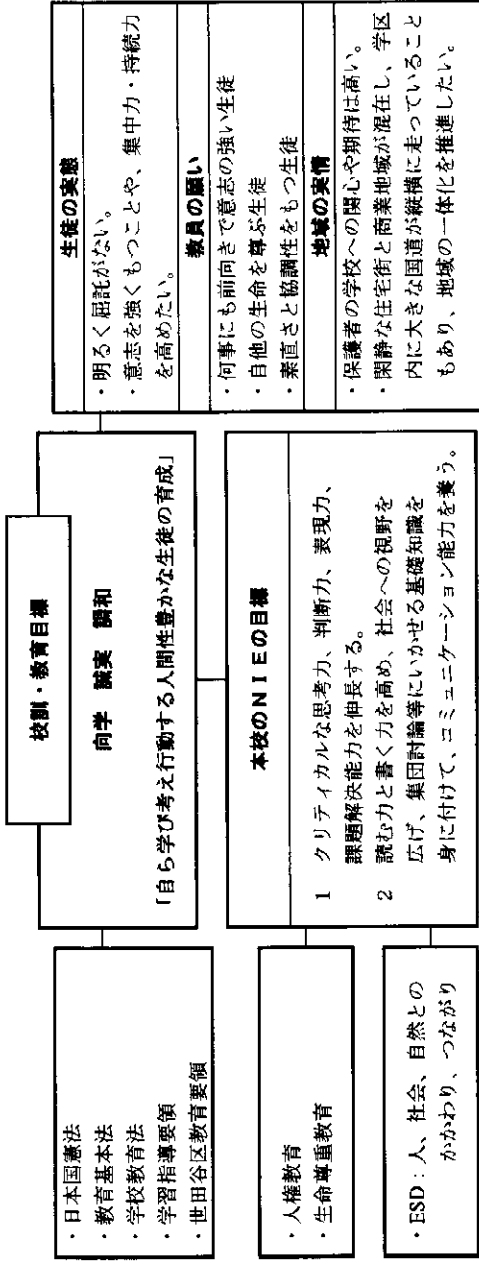
平成25年度 学校図書館年間指導計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

[illegible]

NIE（教育に新聞を）全体計画

ESD



NIEの重点目標	
知識を広げ、多様な見方や考え方に気づき、考えを深めることで、情報を見極め、社会に主体的にかかわっていく生徒を育成するため、新聞を活用し、以下の力を身に付けさせる。	
1 見出し、リード文、本文、写真などから内容を読み取る（要約する）力	
2 必要なデータを収集し、選択する力	
3 読み取った内容などから自分の考えをまとめめる力	
4 調査した結果や自分の考えを新聞などに表現する力、伝える力	

第1学年	第2学年	第3学年
○新聞記事を読み、要約する過程で、課題を見つめ、調べたことや感じたこと、自分の考えをわかりやすく書き出して発表する。	○新聞を活用してさまざまな職業や人間の生き方にふれ、課題を見つめ、調べたことや職場体験等の活動を通して自分の将来や生き方について考えたことをまとめ、発表する。	○さまざまな記事を集め分類・整理する過程で、人類の未来について課題を見つめ、集めた記事を論拠として集団討論を行い、いろいろな意見を参考にしながら、自分の考えをまとめ、発表する。

各教科		道徳
国語	内容を要約し、分かりやすく他者に伝える表現力を身に付ける。 与えられた情報を比較し、多様なものの見方から、自分の考えを構築する。	○新聞記事を資料などの教材として活用し、道徳的価値の自覚を深める。
社会	・社会と教科内容の接点として活用し、教科内容を身近なものとして捉える。 ・新聞作りを通して、情報の収集や提示の仕方を学ぶ。	学級活動 ○校外学習などで新聞を作成し、考えをまとめて「書く」能力をつける。 生徒会活動 ○生徒会新聞や各委員会だよりを作成し、要点をまとめて「書く」能力をつける。 学校行事 ○学校行事の新聞作りを通して、思いや願いを整理して「書く」能力をつける。
数学	・身近な生活と数学のかかわり（主に資料や統計の活用と読取）を学ぶ。	
理科	・様々な資料から学習を広げたり、深めたりするために、読み取る力を身に付ける。 ・環境問題など、ESDにかかわる内容を学ぶ。	
音楽	・音楽にかかわる情報を通して、社会の幅広い音楽について関心を高める。	
美術	・ユーモアのある批評や風刺、考えに触れ、時事に興味をもつ。 ・自分の考えや感情を言語以外の方法で表現する。	
保健体育	・健康と環境」や自らのテーマについて調べ、自分なりの考えを導き出す。 ・スポーツ教育を充実し、調査結果をもとにした体力向上を図る。	総合的な学習の時間 ○様々な記事から、自分の興味・関心をもとに適切な課題を見い出せる力をつける。（課題設定能力） ○課題を解決するために、情報や資料を主体的に収集・選択し、活用できる力をつける。（情報活用能力） ○調べたことや自分の考えを相手にわかりやすく論理的に説明する力をつける。（表現力）
技術	・必要の記事を収集して、生活と技術の関わりについての知識を広げ、深める。	
家庭	・コンピュータを用いた新聞作成を通して、メディアの効果的な使用方法を模る。	
英語	・新聞作りを通して、「書く」能力の向上を図る。	
教科	・国際理解に努める姿勢を育むとともに、自国の文化について理解を深める。 ・哲学、表現、日本文化領域の内容についての理解を深める。 【日本語】 ・表現領域での新聞作りを通して「書く」能力の向上を図る。	
特別支援教育		
・記事の大まかな内容を理解する。・読み取った内容と感想を文書で書き表す。		
家庭との連携		○新聞記事を組み入れた家庭学習を定期的に行う。○学校だより、学年だより、PTA広報誌を発行する。
教職員研修		○教育関係の新聞記事を印刷、配布し、教育の質の向上と職務事故の防止等に対する意識を高める。

[illegible]

世田谷区立駒沢中学校

【目標】法と自由を尊重するとともに、自らのライフスタイルを工夫し、公正で持続可能な社会の実現に関する課題解決のために主体的に行動できる、自立した責任ある市民を育成する。

	教科	道徳	総合的な学習の時間	特別活動
内	○社会(地理的分野) ・資源・産業的分野) ○社会(公民的分野) ・私たちと現代社会 ・私たちが経済政治 ・私たちが政治 ○理科 ・エネルギー資源 ・科学技術と人間 ○音楽 ・知的財産権 ○美術 ・知的財産権、肖像権 ○保健体育 ・ルーラル・マナー ・フェアプレー ○技術・家庭づくり ・著作権・情報モラル ・家族生活環境 ・消費生活「日本話」 ○教科書づくり(哲学) ・ルーラルの秘密(表現)	1-(1)生活習慣 1-(3)自主・自律 2-(1)礼儀 2-(2)思いやり 2-(5)謙虚・寛容 4-(1)遵法の精神 4-(2)社会連帯 4-(3)公正・公平 4-(4)役割と責任 4-(5)公共の福祉 4-(6)家族愛 4-(7)愛校心 4-(8)郷土愛 4-(9)日本人の自覚 4-(10)世界の幸福	○「生きろ」 (持続可能な未来を生きる) ○第1学年 ・自分を知る(自分史) ・集団の中で自分を知る ・自分たちの住む地域を知る ・自分の将来を考える(調べ学習) ○第2学年 ・他者とかかわり方を知る ・社会に生きる姿を知る (職場体験学習など) ○第3学年 ・国際社会での生き方を知る ・豊かな将来を築く「生き方」を考えよう (上級学校訪問・進路学習会など) ○地域に貢献できる自分の生き方を考える	○自分たちででききる活動を つくって守る活動 ・生徒一人ひとりが学級内での役割や係を分担し、法的に関与する教育を通しての生活態度の育成をめぐる活動 ・学校生活の充実や、生徒の諸活動に関する活動、連絡調整への協力活動など、学校行事やアイデア活動などの推進を通して、きまじい創造的な活動を行う。
容				

平成25年度 生活指導年間指導計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

学期	学期の指導目標	月	月 目 標	指 導 内 容
1 学 期	学校のきままりを守り、よい学習環境づくりをさせるとともに、自主的な学習態度を身につけさせる。	4 月	・自ら進んであいさつをしよう ・新しい学年・学級の生活に慣れよう	・学校のきままりを徹底し、実行させる ・服装や礼儀作法を正しくさせる ・登下校時刻と通学路を守らせる ・よりよい学習環境や校風づくりに努める ・交通規則を守り、安全な生活ができるようにさせる ・丁寧な清掃活動の習慣を身につける
		5 月	・集団の一員としての役割を果たそう ・学校や社会のルールや法律を守ろう	・チャイム着席を励行し、学習の準備をさせる ・自主的に学習する習慣を身につける ・学習に不要な物を持ってこさせない ・係や当番、委員会活動に責任をもって取り組ませる ・校舎内での休み時間の過ごし方や廊下歩行時の安全を徹底させる ・地区別下校班の組織編成を行い、災害時の行動に対する意識を高めさせる
		6 月	・授業や部活動で、友だちと励まし合おう ・学級で団結し、運動会を成功させよう ・あたたかい人間関係をつくろう	・正しい服装や清潔な身だしなみを整えさせる ・美しい言葉遣いと挨拶を身につけさせる ・運動会の練習を通して、協力や団結の大切さを理解させる ・思いやりの心を育む
		7 月	・善悪を判断し、正直な心で行動しよう ・1学期の反省をし、夏休みの計画を立てよう	・誰に対しても親切な気持ちで接し、他の人に迷惑をかけない行動を身につけさせる ・善悪を正しく判断し、正直な心で誠実に行動することの大切さを理解させる ・1学期の学校生活を振り返り、よい点、改善点を話し合わせる ・夏休みの学習と生活の計画を立てる
		8 月	・規則正しい生活と安全に努めよう ・2学期の学習と生活の計画を立てよう	・交通安全に努める ・計画を実行する強い意志と自律性を養う ・心身を鍛錬し、自分の健康を管理する ・2学期に向けて学習と生活の計画を立て、準備させる
	集団の一員であることを自覚し、自分の行動に責任をもち、勤労と奉仕の精神を育てる。	9 月	・目標を掲げ、あきらめず挑戦する心を持つよう ・生徒会活動に自主的に参加しよう	・目標や理想に向かって計画を立て、あきらめずに挑戦する姿勢を身につけさせる ・自分の行動や生活態度を反省し、自ら修正していく力を育成する ・生徒会役員選挙を通して、生徒会活動への関心を高める ・自分の役割や仕事を自主的に、責任を持ってやり遂げさせる

学期	学期の指導目標	月	月 目 標	指 導 内 容
2 学 期		10 月	・学校の施設や用具を大切に使う ・学級、学年で団結し、合唱コンクールを成功させよう	・学校の施設や用具を大切に扱い、学校内外をよごさない習慣を身につけさせる ・積極的に清掃活動を行い、用具の後片付けをきちんとさせる ・日頃の学習の成果を生かし、創造性豊かな合唱コンクールの成功につなげる
		11 月	・お互いの人権を尊重し、親切な心で生活しよう ・ボランティア活動に積極的に参加しよう	・かけがえのない人間として、お互いの人権を尊重し、誰に対しても公平、公正に行動できるようにさせる ・身近な地域や生活の中でできるボランティア活動に積極的に参加する
		12 月	・2学期の反省をし、新しい年への意欲をもとう ・自ら進んで健康、体力づくりに励もう	・1年間の反省をし、自分の長所や短所に気づくとともに、長所を伸ばす工夫を考えさせる ・より充実した生活を営むために必要な目標を掲げ、新しい年への意欲をもたせる
3 学 期	公共物を大切に使い、学習や生活の環境を整えさせる	1 月	・両親や友だち、周囲の人々に感謝の心を伝えよう ・新しい目標を立て、1年間のよいスタートを切ろう	・自分たちを見送り、支え、育ててくれている人たちに「ありがとう」と感謝の心を伝える ・学校の施設、設備、備品などを大切に使い、公共物の維持に努める
		2 月	・自分の目標に向かい、努力を続けよう ・最後まであきらめずやり抜く心を養おう	・自分でやると決めたことを継続して行い、最後までやり遂げさせる ・困難なことに出会っても、決してあきらめず、一歩一歩努力させる
		3 月	・1年間の振り返り、自分の成長を確認しよう ・新しい生活に向けて前向きな見通しを立てよう	・1年間の学習、生活を反省し、自分の成長を確認させる ・新しい生活に向けて目標を掲げ、前向きな見通しを立てさせる ・学校内外の美化に努め、教室や諸施設を気持ち良く引き渡す ・交通安全に努める